

# たびろくムービーズを核とした事業展開

## Business Development for Tabiroku Movies

(株)日立ソリューションズ東日本（以下 HSE）は、NPO 法人観光情報学会への参画や、観光事業者と連携した商用サービスの経験などから、観光客のニーズおよび観光業界のノウハウや知見をベースに、「観光」に着目した事業展開に取り組んでいる。本ソリューションは、観光事業者と連携し、観光客に対し、新しい付加価値をもたらす商品・サービスを提供する。また、その収益は観光事業者など関連した企業で分配する事業モデルを構築しており、導入コストを下げるなど、関連企業のメリットを創出している。本論文では、本ソリューションの中核商品・サービスである「たびろくムービーズ」を核とした事業展開について述べる。

鈴木 裕一 Suzuki Yuichi  
小野寺 俊 Onodera Shun  
中山 隆 Nakayama Takashi

### 1. はじめに

近年、旅行形態の変化や、交通手段の多様化、訪日外国人の大幅な増加など、観光事業を取り巻く環境が大きく変化している。このため観光事業者は、観光客の多様なニーズに応えるための商品やサービスの検討、増加する訪日外国人に向けた魅力のある観光スポットの創出など、新しい取り組みが求められている。このような背景の中、HSE は観光業界に対するノウハウと、スマートフォンアプリの開発技術、動画作成技術を活かし、観光客や観光事業者向けのいままでにない新しい付加価値を提供する、スマートフォンアプリ「たびろくムービーズ」を核とした事業展開を推進している。

国内の観光消費は 2014 年まで、横ばいから若干減少傾向であったが、2015 年 4 月～6 月の速報値では、5.6 兆円と前年同期比 18.3% 増となっている。

また、日本政府の行動計画では、2020 年までに、年間の訪日外国人数を 2,000 万人にする目標をかかげている。現在、訪日外国人の数は、2015 年 1 月から 6 月の上半期だけで過去最高の 914 万人に達しており、年間では 2014 年実績の 1,341 万人を大きく上回る予想になっている。

2020 年に開催される、東京オリンピック、パラリンピックに向けて、観光事業分野は盛り上がりを見せており、国内需要の回復と、さらなる訪日外国人の増加が見込まれる中、観光事業は今後の成長分野になると想定される。

これらの背景を踏まえ、観光ソリューションのコンセプトは、①地方創生/地域の活性化への貢献、②新しい付加価値サービス創出、③潜在するニーズを満たす商品提供、の 3 点である。

このコンセプトを元に、「たびろくムービーズ」をベースとして事業を展開中である。

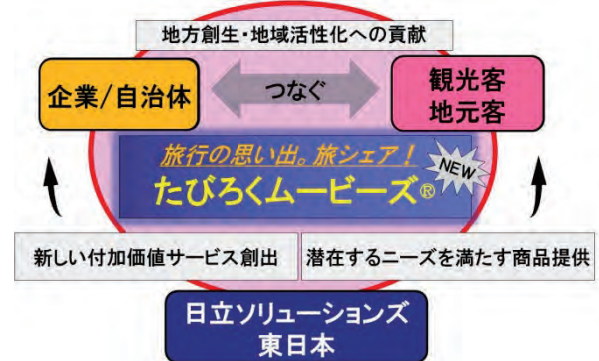


図 1 観光ソリューションのコンセプト

### 2. たびろくムービーズの概要

たびろくムービーズは、観光客と観光事業者への価値提供を目的としたスマートフォンアプリであり、以下の特徴を持っている。

#### ① ムービー作成機能

ムービー作成機能は、誰でも簡単にミニ映画のようなムービーを作ることができる機能である。利用者は、写真を選択してコメントを入力し、サーバにアップロード

するだけの簡単操作で、ムービーを作成することが可能である。作成したムービーには、写真と旅先のイラスト地図（移動ルート）や、写真を撮影した位置に合わせて、ご当地映像が組み込まれる。これにより、”いままでにない”思い出ムービーを作成して楽しむことができる。

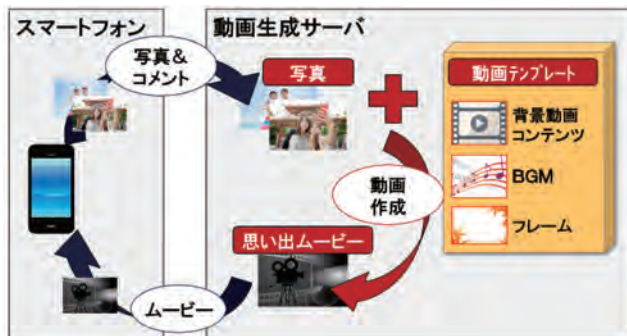


図 2 ムービー作成手順

②動画テンプレート

旅のスタイルに合わせた、様々なテイストの動画テンプレートを提供。動画テンプレートとは、ムービーを作成するために使用する背景動画コンテンツ、BGM、写真フレームなどのセットである。ムービー作成時に動画テンプレートを1つ選ぶことで、そのテイストのムービーを作成することが可能である。事業展開に向けた拡張性を考慮しており、新たな動画テンプレートを、容易に利用者に配布することが可能である。

③施設案内機能

施設案内機能は、観光客がテーマパークや観光施設をより楽しむために、現在地表示や施設説明などの施設を案内するための機能である。観光事業者が地図や観光施設情報などのコンテンツを準備するだけで、すぐに観光客向けの施設案内サービスが可能になる。

④情報配信機能

情報配信機能とは、スマートフォンアプリの通知機能や、アプリに組み込まれたお知らせ機能を使って、観光客に情報を配信する機能である。これにより、観光事業者が観光客へ、タイムリーに情報の配信が可能になる。

⑤GPS ログ蓄積

利用者がムービーを作成するタイミングで、GPS ログをサーバ上に送信する。この GPS ログは個人情報特定しない形式でサーバに蓄積される。継続的に蓄積された GPS ログを、ビッグデータとして解析することで、利用者の動態分析にも活用することが可能である。

⑥アプリ内課金

ムービー作成に使用する動画テンプレートを GooglePlay や AppStore などのアプリストアで公開し、販売する。利用者が動画テンプレートを購入すると、その購入代金が HSE の売上となる仕組みである。

⑦多言語化

訪日外国人をターゲットとするため、アプリは多言語対応可能な仕組みとなっている。現時点で、英語、中国語（簡体字）、中国語（繁体字）、韓国語に対応しており、必要性に応じて、メッセージファイルを追加するだけで他の言語を追加することが可能である。

3. 事業モデルと導入事例

3.1 事業モデルの考え方

HSE は観光事業者と観光客をターゲットに、「たびろくムービーズ」をベースとしたサービス事業を展開している。

本事業モデルの考え方は以下のとおりである。

- ① HSE がすべてのサービスを取りまとめ、観光事業者がサービスを提供することで、最小限の導入費用と、最小限のリスクでサービスを開始できる。また、契約からサービス開始まで、約一カ月でのサービスの導入が可能である。
- ② 動画テンプレートや会員向け機能の一部が有償であり、購入代金の一部を観光事業者へ還元することができる。還元された売上を、観光客へ提供するサービスの改善に使うことで、利益の好循環を生み出せる。

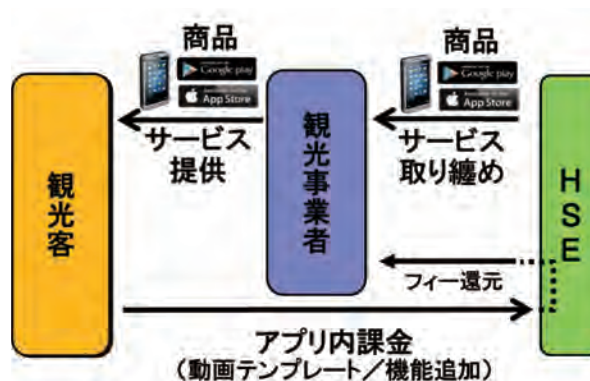


図 3 事業モデル

HSE が本事業を推進していくためには「たびろくムービーズ」の利用者を増やし、多くの方に有償コンテンツを購入してもらう必要がある。このため、HSE 単独では

無く、大手旅行代理店と連携したツアー客への拡散や、テーマパークと連携した来園者に向けた拡散、地方自治体や観光協会と連携し観光客への拡散を通して、利用者を増やす戦略とし、事業を推進している。

### 3.2 具体的な導入事例

#### (1) 旅行代理店向け

HSE は、2015 年 6 月より、ANA セールズ株式会社(以下、ANA セールズ) 殿のツアー特典として、スマートフォンアプリ「スカホ版 たびろくムービーズ」の提供を開始している。

「スカホ版 たびろくムービーズ」は、ANA セールズ殿が提供する ANA スカイホリデーのツアーである「夏バケ沖縄」「デコラージュ」(約 10 万人) へ、ツアー特典として組み込まれている。ツアー客が「スカホ版 たびろくムービーズ」を利用して、動画テンプレートを利用すると、利用実績に合わせ、ツアー代金の一部が、ANA セールズ殿から HSE に支払われる。動画テンプレートの一部は有償であり、ツアー客の購入代金が HSE の売上となり、その一部が ANA セールズ殿に還元される。

現在、利用者の拡大をめざすべく、他ツアーへの組み込みを推進中である。

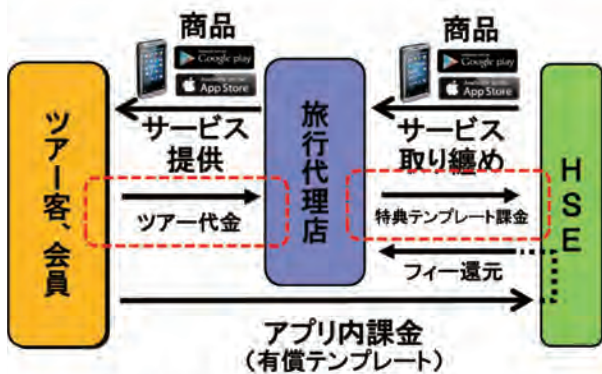


図 4 旅行代理店向け事業モデル

#### (2) テーマパーク向け

HSE は、来園者(年間約 90 万人) 向けに、来園者サービスの向上を目的として、2015 年 8 月から「たびろくムービーズ」をベースとした、円山動物園公認スマートフォンアプリ、「まるどうネクスト」のサービスを開始している。

スマートフォンアプリ「まるどうネクスト」には園内にいる動物達の个体情報や、飼育員とのエピソードなど、さらに園内を楽しむための情報が含まれており、来園者の満足度向上に寄与している。

動画テンプレートには、普段園内からは見られない動物達のプレミアム映像が含まれており、動物園での家族の思い出を、動画として残すことができる。動画テンプレートの一部は有償であり、来園者が有償の動画テンプレートを購入すると、その売上の一部が円山動物園殿にエサ代として寄付される。一部を寄付とすることで、来園者の購買意欲の向上につながっている。

円山動物園殿と HSE は 4 月に共同で事業を推進するための協定を結び、環境問題や動物達の自然な暮らしのサポートなどを含め、共同で本事業を推進中である。

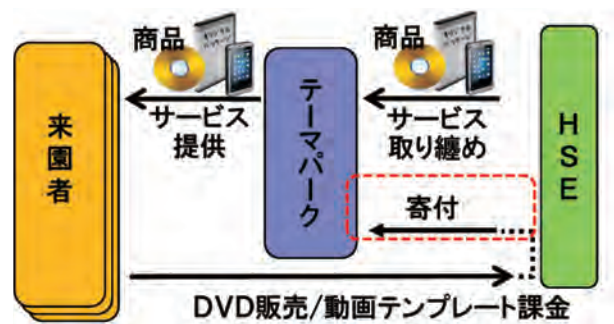


図 5 テーマパーク向け事業モデル

#### (3) 自治体/観光協会向け

自治体/観光協会は、地方創生/地域活性化をめざし、旅行者などの交流人口の拡大を大きなテーマとして取り組んでいる。HSE はこの取り組みを支援すべく、以下の課題を対策する SI ソリューションを提供していく。

①地域の魅力を国内外へ発信/地域間の連携による魅力ある観光地域づくり

観光客に魅力を伝えるための動画テンプレートを提供し、SNS などでの拡散による、観光地の PR を行う。

情報配信機能を活用したタイムリーな情報提供により、旬の食材や季節の花、穴場情報などを観光客に配信する。

②観光関連産業を活性化する好循環サイクルの確立

サーバに蓄積された GPS ログをビッグデータとして分析し、「新たな観光ルートの創出や観光客の誘導」、「観光地、商店街などで有効活用するなど」継続的な地域活性化が期待できる。

③すべての人(特に訪日外国人) が旅行しやすい環境の整備

コミュニケーションをサポートする指差し会話機能や、Wi-Fi スポットの位置提供サービスを提供する。

以上のような提案内容に加え、「たびろくムービーズ」の



導入後も、観光事業者が効果を見極めた上で、機能拡張を行うなど、将来的な発展も可能である。

#### 4. 今後の事業展開について

本事業は、「たびろくムービーズ」を核として、観光客のニーズを満たし、観光事業者が、観光客に新たな価値を提供すると同時に、課金機能などにより、売上の一部を観光事業者へ還元し Win-Win の好循環をもたらす事業モデルである。

観光事業者が早期にサービスを導入することができる事業モデルであるため、同業種への展開を効率良く、スピーディに行うことができる。

テーマパーク向けは円山動物園殿へのサービス導入を皮切りに、他の動物園や水族館、大規模テーマパークへ事業を展開していく予定である。

また、旅行代理店向けは、他の旅行代理店、会員向けサービスへの展開や、訪日外国人向けにサービスを提供するため、海外の旅行代理店への事業展開を行う予定である。訪日外国人の GPS ログによる動態分析結果は海外の旅行代理店がほしい情報であり、分析情報の販売など新たなビジネスが見込める分野でもある。

さらに、自治体／観光業界向けには、観光事業者とつなぐ、日立グループ内外の企業と提携し、事業を拡大していく。国内の観光需要に加え、今年度で 1,800 万人に達しようとしている、訪日外国人向けの事業を展開することで、事業の拡大をめざす。

#### 5. おわりに

本論文では「観光」に着目した新規ソリューションの取り組みについて、「たびろくムービーズ」を中心に述べた。

特許戦略についても、今年度までに観光ソリューション全般に関する特許を 4 件出願済みであり、来年度以降も年度で 1 件以上出願する計画を推進している。

日本政府が観光立国ニッポンを提唱する中、2020 年東京オリンピック・パラリンピック開催が決定した。今後は、ますます「国内の観光事業」にスポットライトが当たることが見込まれている。

今回の取り組みは、日立グループの中でも新たな事業分野へのチャレンジとなる。東京オリンピック・パラリンピック開催という追い風を味方に「成功するまでやり続ける」という強い信念を持って、本事業を推進してい

く所存である。

#### 参考文献

- 1) 日本政府観光局 (JNTO) 訪日外客数の動向  
[http://www.jnto.go.jp/jpn/reference/tourism\\_data/visitor\\_trends/index.html](http://www.jnto.go.jp/jpn/reference/tourism_data/visitor_trends/index.html) (2015 年 9 月閲覧)
- 2) 観光庁「観光立国実現に向けたアクション・プログラム 2015」  
<http://www.mlit.go.jp/common/001092004.pdf> (2015 年 9 月閲覧)



鈴木 裕一 1997 年入社  
事業戦略統括本部  
ビジネスイノベーション部  
観光ソリューション  
yuichi.suzuki.ze@hitachi-solutions.com



小野寺 俊 1998 年入社  
社会・公共ソリューション本部  
社会ソリューション第二部  
観光ソリューション  
shun.onodera.uh@hitachi-solutions.com



中山 隆 1991 年入社  
事業戦略統括本部  
ビジネスイノベーション部  
観光ソリューション取り纏め  
takashi.nakayama.ty@hitachi-solutions.com